２　歳　　出

⑴　歳出の状況

当年度の歳出決算額は72,625,009千円で、予算現額81,378,296千円に対して

執行率は89.2％(前年度92.7％)となっている。

支出済額は前年度に比べ4,168,438千円(6.1％)増加している。

これは主に、衛生費で1,763,274千円(38.4％)、土木費で1,708,833千円(18.1％)、

　　　民生費で1,507,197千円(6.7％)増加したことによるものである。

公債

一般会計歳出款別構成状況　　　　　　　（単位：％）

平成28年度歳出決算額　72,625,009千円

※　(　)内は、27年度数値

一　般　会　計　歳　出



当年度の各款の支出済額にかかる対前年度増減についての主な要因は、次のとおりで

ある。

　民生費の増加の主な要因は、児童手当が減少したものの、年金生活者等支援臨時福祉給付金、新牧野保育園（仮称）建設事業費、私立保育所入所運営委託費、障害者自立支援費等が増加したことによるものである。

　衛生費の増加の主な要因は、ごみ減量化・資源化促進事業費等が減少したものの、統合看護専門学校整備推進事業費、高岡駅前東地区複合ビル活用推進事業費、予防接種事業費等が増加したことによるものである。

　土木費の増加の主な要因は、福岡駅前土地区画整理事業費等が減少したものの、高岡駅前東地区整備推進事業費、矢田市営住宅建替事業費、交通ネットワーク整備事業費、末広町西地区整備推進事業費等が増加したことによるものである。

款　別　決　算　状　況

（単位：千円・％）



議会費の減少の主な要因は、議員共済給付費負担金の負担率が引き下げられたことにより、負担金が減少したこと等によるものである。

農林水産業費の減少の主な要因は、多面的機能支払支援事業費等が増加したものの、農業経営規模拡大対策事業費、団体営林道事業費、かんがい排水事業費、ため池等整備事業費補助金等が減少したことによるものである。

教育費の減少の主な要因は、野村小学校体育館改築事業費、能町公民館整備事業費等が増加したものの、学校施設耐震化事業費、志貴野中学校校舎改築事業費等が減少したことによるものである。

一　般　会　計　歳　出　款　別



・　節　別　一　覧　表

（単位：千円・％）



⑵　繰出金の状況

特別会計への繰出金は、国民健康保険事業会計等の５事業会計に対して

4,564,065千円を繰り出しており、前年度に比べ133,382千円(3.0％)増加している。

　　　 これは主に、工業団地造成事業会計で1,274千円(△4.7％)減少したものの、介護保険事業会計で47,496千円(2.0％)、駐車場事業会計で33,510千円(11.1％)とそれぞれ増加したことによるものである。

一般会計から特別会計への繰出金

（単位：千円・％）

